

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートてんぱく			
○保護者評価実施期間	令和7年4月21日		～	令和7年5月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名 ※在籍児童は22名(1組姉弟がいる為)	(回答者数)	21名 ※在籍児童は22名(1組姉弟がいる為)
○従業者評価実施期間	令和7年4月21日		～	令和7年5月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との情報共有の細やかさ	些細な事でも送迎時や連絡帳で知らせたり、モニタリングなどで保護者と直接ゆっくり話せる機会がなかなかない時には電話連絡でのやり取りも実施している。	学校での困り事に保護者が悩みを抱える際は、保護者と共に学校に見学に行ったり、担任教師などにその子に適した学習方法の提案をしたりする事で、子どもの身の回りの環境設定を整えていけるよう積極的に取り組んでいる。
2	子ども達の特性に合わせた充実したプログラム	様々な面から子ども達に必要な課題にアプローチ出来、楽しく参加が出来るような活動プログラムを毎月実施している。	キャラクターもののひらがなカードなど子ども達が興味を持ちやすい教材を手作りしたり、それぞれのレベルに合わせて小集団グループを作って活動プログラムを実施したりしている。
3	子ども達にとっても保護者にとっても心の拠り所になれている事	子ども達の特性について職員1人1人が理解を深め、対応方法を個別で考え実践したり、その子のペースで色々な事にチャレンジし小さな成功体験を積んでいけるような環境作りに力を入れている。	専門的知識の豊富さにより、子ども達の言動や困り事に対し「なぜこんな事をしてしまうのか？」という疑問や不安に寄り添いながら具体的にどう対処すればいいか助言している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会が設置出来ていない	保護者によっては、他の保護者との関わりに消極的な方がいたり、預かっている子ども達の間に年齢差がある事で抱えている悩みが異なっていたりしている為、今までなかなか実施出来なかった。	保護者交流や得たい情報の有無に関して保護者の要望を聞き取り、得たい情報に関しては事業所側から提供出来るようなサポートを行っていく。保護者間交流に関しては希望する保護者が一定以上いる場合は開催も前向きに検討する必要がある。
2	相談支援事業所など関連施設との直接的な連携機会がなかなか取れていない	セルフプランの利用者が多く、相談支援事業所を利用している利用者が少ない上、担当の相談支援員のモニタリング等も電話連絡で行われる事が多い為、なかなか直接関わるケースが少ない状況にある。	相談支援事業所を利用している児童もいるので、その児童を担当する相談支援員に対し、こちらからも連絡を取り、もう少し密に連携を深めていけるよう努めていく必要がある。
3	地域の方々と交流する機会がなかなか持てていない	保護者の中には、自分の子どもがデイサービスを利用している事を近隣の方に知られたくない方も一定数いるので、容易に地域イベントなどに参加出来ない。	場所や内容を吟味し、子ども達のプライベートに配慮出来るような交流機会があれば積極的に参加していけるよう努めていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズサポートてんばく

公表日 2025年5月16日

利用児童数

22人

21(在籍児童22名のうち1  
回収数 組は姉弟兄の為)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	2	0	2	部屋がとてもし広いというわけではないが、外で遊ばせてもらったり、中での活動も考えてもらえている。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	0	0	1	子どもの人数がこれ以上増えないといいなと思う。	落ち着いて過ごせる環境が損なわれないよう十分な配慮を行っていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	3	*1名回答欄に記載がなかった為、総数21	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	19	0	0	2		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	0	0	0	子どもの特性を理解し、一人一人に対応してくれている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	0	0	0	子どもの相談だけでなく、親の気持ちの相談も聞いてもらえ、いつも元気になる。目標に向けてどうすればいいかをいつも考えてもらえる。すぐに相談できることで日々の活動の様子も不安に感じたことはない。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	0	0	0	室内だけでなく、外出したり、体験をさせてもらえるプログラムもあり、良い経験になっている。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	4	5	6		
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	21	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	3	3	4	モニタリングの時に相談にのってもらい、子供への対処法など教えてもらえるので参考にしている。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	0	0	0	送迎時にその日の活動内容やの様子や本人の様子を伝えてもらえる。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	0	0	0	モニタリングや送迎時に相談等、話が出来る機会がある。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	6	5	・以前はあったと思うのですが、最近はよくわからない ・夏祭りには家族も参加出来、事業所内の様子や子供同士の様子等を見ることができた。 ・父母の会など他の保護者の方との交流はないが、情報交換の場所などがあると嬉しい。でも仕事で、なかなかあっても参加できない現状はある。	今後保護者交流希望の有無を保護者から聞き取り、要望が多ければ保護者会の開催も検討していきたい。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	3	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0	0	送迎時やラインでの連絡を通して情報伝達がスムーズに行われている。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	2	0	1	定期的に避難訓練が行われていたり、天候等で異常時が予想される時等、事前に連絡をくれる。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	1	今までに事故や怪我がないので分からない。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回楽しみにしている。活動内容も前日に確認し、待ち嬉しい。</li> <li>・安心して過ごせる場所だと思う。</li> <li>・子どもの成長を本当に感じる。</li> <li>・利用させてもらえて良かったと思う。</li> </ul>	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	21	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回「キッズだ〜！」と張り切って楽しみに通所している。</li> <li>・活動内容や他の学校の友達と会えることで本人の楽しみの場になっている。</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの内容に外出や体験があり、普段できない事や連れていけない所も多いので、すごく良い経験になり、刺激につながっている</li> <li>・帰宅時に活動報告など、細かい所まで伝えていただけたので、とても安心出来ている。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
キッズサポートてんばく		2025年5月16日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	人数や状況に応じて別室を開放している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5	・ 段差が玄関や部屋の入口にある。 ・ 構造化は行っているがバリアフリーではない（段差など）。	今後身体に障がいがあるなど段差に問題点が出てきたり、手すりが必要な箇所が出てきた場合は随時検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日、振り返りをしたり、疑問に思ったことを提案し、他職員の意見を聞いたりしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	・ 保護者を対象に行っている。 ・ 利用者の保護者にはしてもらっている。	現時点では利用者と事業所内のみにしているため、今後の検討課題としていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	検査結果や日々の子どもの姿から確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	「移行支援」「地域支援・地域連携」についての支援内容は設定していない。	移行支援に関しては、今後必要性のある利用者がいた場合、運営側に検討を要請してみる。地域連携に関しては、なかなか現状は地域の方と触れ合う場もないので、チャンスがあれば前向きに実践していきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	毎日、話し合いをしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	こどもたちの状況、姿、課題等に合わせて考えている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	チームで行う活動を取り入れるなどコミュニケーション能力を育てていけるように設定している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎朝、行っている。またその場で疑問に思ったり気になったりしたところを聞くようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	毎日振り返りを設けて、共有し、書面に残すことで、休みの職員も把握していけるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	専門記録や振り返りでやっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	その子のその時に応じたものになっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1		地域交流の機会の提供について、実施できていないが、今後検討していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	3	相談支援事業所や関係機関との会議が開催されていない。	今後サービス担当者会議や関係機関との会議が行われる機会があれば子どもの支援担当者や児発管が出席する予定でいる。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3	・学校などとは状況を話し合ったりして連携している。 ・学校と話し合いを設けたり、必要に応じて書面で表したりしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・送迎時に話をするところもあるが、年間行事の共有はできているところとそうでないところがある。	学校の行事情報などは基本的に保護者に確認する機会が多い為、機会を見つけて学校とも情報共有していけるように努めていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	7	・保護者から情報を聞いたりして対応している。 ・該当する利用者がいない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	・学校を卒業して移行した利用者がまだいない。 ・現状、該当児童がいないため未実施。 ←未記入1	今後、学生生活を卒業して就労など別の進路に進んでいく利用者がいた場合は、積極的に移行先と連携を取っていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	7	・わからない ・地域の児童発達支援センターと連携は図っていない。	機会があれば今後地域の児童発達支援センターと積極的に関わっていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	・活動として公園や遊ぶ施設に行った際に関わる機会はある。 ・公園で地域の子と一緒に遊ぶ機会はある。	公園などで今後も積極的に関わっていければと思っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	7	・現状はしていない	今後必要が出てきた場合参加を検討していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時に対話している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・ペアレントトレーニングは行えていない。	研修やイベントとしては行えていないが、モニタリング時に必要な情報提供や家庭での困りごとに対する具体的な解決方法の助言を行っている。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に担当職員が書面を見ながら行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・モニタリングを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・家族からの相談、悩みについては職員間で共有し、適切な助言や支援が行えるようにしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	7	・現状、してはいないが夏祭りなど保護者が参加できるイベントは実施している。	現在行っていないが、今後検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・保護者からの苦情については真摯に受け止め、全職員で共通理解をし、適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	・毎月、活動予定表や活動のねらいについて配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・一人一人が意識して行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・毎日連絡帳を書いて、その日の様子について知らせたり、送迎時に話したりしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	・現状、実施できていない。	現状行っていないが可能な状況であれば行っていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	・防犯、感染症マニュアルは家族に周知していない。	現在周知出来ていないマニュアルも今後随時周知し、保護者と情報共有をしていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	・定期的に避難に関する訓練は実施している。 ・毎月、避難訓練を行ったり、職員間で何をすべきかどう行動をとるべきか話し合ったりしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・フェイスシートや保護者との話し合いの中で、確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・医師の指示書が出されている児童はいないがアレルギーがある児童については、保護者に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットがあった際は事業所内に限らず、会社全体が周知するように会議で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・一人一人が研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		